

# 所管事務調査in香港

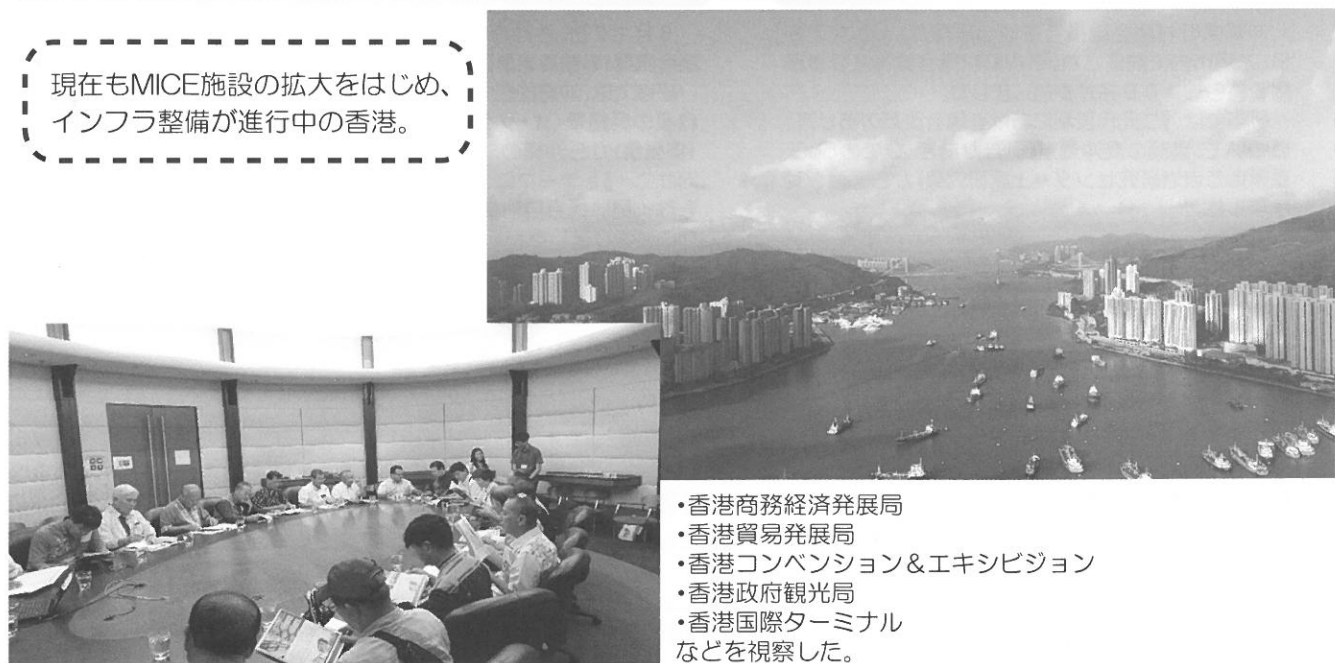
その前に！  
MICEって何？

MICE(マイス)とは、M=meeting(企業の会議)、I=incentive tour(報奨旅行)、C=convention・conference(学会・国際会議)、E=exhibition・event(展示会・イベント)の頭文字をとった造語です。大きな規模で、前記したことのできる施設が、マリンタウン東崎に建設されます。

大型MICE施設は、東海岸地域はもとより沖縄県全体の振興発展につながり、東アジアの玄関口としての沖縄、その核となる西原町のまちづくりの大きな柱と位置づけ、東アジアの玄関口としての沖縄の在り方、又今後のライバルとなるアジア地域のMICE施設を検証し、具体的なまちづくりを描いていくための調査を目的とする。

現在もMICE施設の拡大をはじめ、インフラ整備が進行中の香港。

何のための視察？



・香港商務経済発展局  
・香港貿易発展局  
・香港コンベンション&エキシビション  
・香港政府観光局  
・香港国際ターミナル  
などを視察した。

## 総括

我が西原町は、今後MICE施設の背後地の土地利用計画を中心に、after-MICE(施設利用後の観光など、顧客が魅力を感じるまちづくりのこと)の構築が必要である。

世界トップのMICE施設を要する香港のアドバイスは、受け入れる側のMICE開催事前の積極的な情報提供を行い、当地の文化・観光施設等の積極的なアピールが顧客の長期滞在を促し、経済波及効果がある。その例として、option-tour(オプションツアー)の充実やattraction(アトラクション)を企画する(商品を数多く準備し、滞在意欲を促す。)

沖縄県が将来のライバルと目す香港であるが国際的な認知度や開発規模では大きく水をあけられている。ハイセンスな香港のMICE施設に対し、「ゆとりある癒しのリゾート」というテーマを前面に、世界に類のないMICE施設を目指す沖縄県の趣旨に即した、「沖縄独自のおもてなし」を前面に、町当局のみならず、町民と共に、これからのまちづくりを行っていくべきである。

町民に「わかりやすい！読みやすい！親しみやすい！」  
議会だよりを目指し…

今回より「ここが知りたい！議会のこと・議員のこと」と題し、特集ページを設けました。

記念すべき**第一弾**として、常任委員会(総務財政・建設産業・文教厚生)の役割を紹介し、議員は、少なくとも一つの常任委員となるものとする地方自治法で定められています。

ここが知りたい！  
議会のこと  
議員のこと  
Vol.1



何をすると  
ころ？



1. 役所の事務に関する調査を行い、議案や陳情等の審査も行います。
2. 役所の事務に関する調査・審査のため必要であれば、参考人の出頭を求め意見を聞くことができます。
3. 予算他重要な議案・陳情等について公聴会を開き、真に利害関係を有するもの又は、学識経験を有する者等から意見を聞くことができる。

\*「陳情」とは、役所や議員などに実情を訴えて善処してくれるよう要請する事。  
\*「公聴会」とは、一般に影響する事が大きい重要な事項を決定する際に、利害関係者・学識経験者などから意見を聴く会。

## 委員長に聞いてみた！

住みよい西原町となるように、各常任委員会がその専門性を活かし又、連携しながら5年・10年先のまちづくりを担っています。その取り組みをそれぞれの委員長に聞いてみました。

総務財政委員長  
喜納 昌盛

《委員》 真栄城 哲(副委員長)、宮里芳男、屋比久 満、伊波時男、長浜ひろみ

- Q.委員会として重点的に取り組んでいるものはなんですか？  
A.厳しい財政事情を注視し歳入関係では、各税金・国保税等、さらには給食費の徴収率の向上が急務でありますし、今後アフターMICEの税収もしっかり得られる計画が必要。  
Q.その他の取り組みはどうでしょうか？  
A.社会福祉の充実、大型MICE施設の周辺整備や文化施設の整備など歳出も膨大で、プライマリーバランス(収入と支出のバランス)を維持できるよう注視しています。

建設産業委員長  
大城 誠一

《委員》 呉屋 悟(副委員長)、儀間信子、与儀 清、仲松 勤、大城好弘

- Q.委員会として重点的に取り組んでいるものはなんですか？  
A.大型MICE施設の背後地の用途変更(低層→中高層)や観光協会の設立。浦西駅周辺の区画整理を含めた都市計画をしっかり行い、人口増を目指す。  
Q.その他の取り組みはどうでしょうか？  
A.計画中の農産物流通・加工・観光拠点施設をどの様に機能させるのかということも、今後の大きな課題の一つであります。

文教厚生委員長  
上里 善清

《委員》 伊計裕子(副委員長)、与那嶺義雄、宮里洋史、大城純孝、前里光信

- Q.委員会として重点的に取り組んでいるものはなんですか？  
A.貧困問題(子ども、老人)、待機児童です。この問題は、本町のみならず大きな問題であり、早急な対策が必要と考えています。調査研究を重ね、具体的な提案が出来るよう取り組んでいます。  
Q.その他の取り組みはどうでしょうか？  
A.学力向上(文武両道)を推進し、「文教のまち」として沖縄県のモデルになるような取り組みが必要と考えます。